



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 浅田 茂

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	286,618	22.0	32,045	15.5	30,976	35.0	17,337	8.4
25年3月期第2四半期	234,859	17.8	27,735	8.9	22,948	5.9	15,993	9.7

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 32,430百万円 (105.9%) 25年3月期第2四半期 15,749百万円 (36.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	88.99	86.73
25年3月期第2四半期	86.81	81.75

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	576,716		397,572		61.5
25年3月期	535,055		329,201		54.2

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 354,679百万円 25年3月期 289,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	580,000	17.0	70,000	17.7	65,000	△0.0	35,000	△18.8	172.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	206,944,773 株	25年3月期	206,944,773 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	6,141,523 株	25年3月期	16,531,662 株
----------	-------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	194,818,542 株	25年3月期2Q	184,247,707 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、新興国の通貨安や、一部地域における政情不安等がありましたが、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供し続けます”の基本方針に基づき、アジア地域を中心に消費者ニーズを捉えた商品の普及に取り組み、順調にシェアを拡大してまいりました。中でも、主要国であるインドネシア、タイにおきましては、売上、利益共に高い成長を継続しており、今後市場成長が見込めるインドにおきましても高成長を実現しております。また、日本国内におきましては、政権交代後の金融緩和策等による株高や円安から景気を持ち直しも見られ、高付加価値パーソナルケア関連商品の販売が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は12期連続で過去最高の286,618百万円（前年同期比22.0%増）、営業利益は6期連続で過去最高の32,045百万円（前年同期比15.5%増）、経常利益30,976百万円（前年同期比35.0%増）、四半期純利益17,337百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

● ベビーケア関連商品

国内では、独自の不織布技術を活かした商品の開発に努めてまいりました。『ムーニー』では、世界で初めて※1赤ちゃんの体の丸い骨格に合わせたやわらかなカーブの形状を採用した『ムーニー エアフィット』とパンツタイプ紙オムツ『ムーニーマン エアフィット』を発売し、次世代型紙オムツとして市場を活性化した他、ディズニーキャラクターのかわいいデザインとお手頃な価格でご好評頂いております『マミーポコ』シリーズの2ブランドと共に販売促進を積極的に行い、ブランド力の強化を図ってまいりました。

海外では、インドネシアの中間層向け紙オムツ『Mamy Poko Standar』や、タイの昼専用紙オムツ『Mamy Poko Happy Pants』等、各国のニーズに対応した商品の販売促進に取り組んだ結果、市場シェアが拡大し、引き続き業績が拡大しました。また、重要市場である中国におきましては、競合他社の参入等により市場競争が激しくなりましたが、順調に販売エリアを拡大し、業績が安定的に推移しました。

※1 ウエストとクロッチの伸縮シートと吸収体に設けた切りかけにより紙オムツを立体的にする構造

主要グローバルブランドにおけるベビー用テープ型オムツ対象 平成24年9月ユニ・チャーム調べ

● フェミニンケア関連商品

国内では、市場が縮小傾向の中、独自の不織布技術を活かした高付加価値商品の浸透に努めてまいりました。『ソフィ』ブランドでは、つけ心地にこだわった夜用ナプキン『ソフィ 超熟睡 極上フィットスリム』を発売した他、生理中の敏感肌へのやさしさを追及した『ソフィ はだおmoi』※2シリーズに粘性の高い経血を吸収し、サラサラがつづく「ドロッと経血吸収シート」を搭載し、多様化する女性のライフスタイルに応じた新価値提案をし続けてきた結果、業績が安定的に推移しました。

海外では、重要市場である中国の若年層からデザインのかわいらしさと商品の品質の高さに対して高

いご支持を頂き、業績が大幅に向上しました。

※2『ソフィ はだおmoi』の夜用、『ソフィ はだおmoi 極うすスリム』の17.5cmを除く

●ヘルスケア関連商品

高齢化の進展で、成長が続くヘルスケア国内市場において、介護用品では、『ライフリー』シリーズのパンツタイプの形状を足入れがスムーズに行えるようリニューアルした他、尿ケア専用品では、ライナータイプの『チャームナップ』シリーズとナプキンタイプの『ライフリー』シリーズの2ブランドで軽失禁・尿ケア市場の成長をリードしてまいりました。また、テレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて販売促進にも積極的に取り組んだ結果、市場シェアが拡大し、引き続き業績が拡大しました。

●クリーン&フレッシュ関連商品

『シルコット ウェットティッシュ』において、リビングで、片手で簡単に使える価値をテレビコマーシャルや売り場で価値提案した結果、シェアが拡大し業績が大幅に向上しました。また、楽しいお掃除習慣のご提案で高いご支持を頂いております『ウェーブ ハンディワイパー』では、住環境の変化に加え、家庭内や日用品でも香りを楽しみたいというニーズにお応えして、香り付きの『ウェーブ ハンディワイパー グリーンの香り』をラインアップに追加、「家中丸ごとこれ1本」の新しいお掃除習慣の提案を図った結果、業績が拡大しました。

この結果、パーソナルケアの売上高は245,855百万円、セグメント利益（営業利益）は31,443百万円となりました。

②ペットケア

消費者ニーズを捉えた商品の開発と市場創造に努め、商品のセグメンテーションを通じて市場の活性化と販売促進に取り組んでまいりました。

国内ペットフードでは、猫フード市場におきましては猫の嗜好性の多様化に積極的に取り組み、犬フード市場におきましては健康志向に応えた商品や市場が成長している犬種別フードを販売、浸透させ、市場の活性化に取り組んでまいりました。

ペットトイレタリーでは、独自技術を活かし、ペットオーナー様のニーズに応えた商品の販売促進に取り組んだ結果、業績が安定的に推移しました。

北米市場においては、ユニ・チャーム独自の技術を使用した犬用シートの取扱いが大手小売店で拡大し、8月に発売した猫砂新商品の取扱いも大手小売店で進展しました。

この結果、ペットケアの売上高は38,182百万円、セグメント利益（営業利益）は415百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、産業用資材を中心に販売を進めました。

この結果、その他の売上高は2,580百万円、セグメント利益（営業利益）は169百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産は、576,716百万円（前連結会計年度比7.8%増）となりました。主な増加は、現金及び預金14,036百万円、機械装置及び運搬具（純額）12,238百万円、未収入金の増加等によるその他流動資産10,278百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債は、179,144百万円（前連結会計年度比13.0%減）となりました。主な増加は、前受収益の増加等によるその他流動負債7,445百万円、支払手形及び買掛金5,106百万円であり、主な減少は、転換社債型新株予約権付社債△38,993百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産は397,572百万円（前連結会計年度比20.8%増）となりました。主な増加は、自己株式の減少27,044百万円、当第2四半期純利益17,337百万円、資本剰余金13,284百万円、為替換算調整勘定8,586百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間における自己資本比率は61.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成25年4月30日発表と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,321	88,357
受取手形及び売掛金	60,349	60,623
有価証券	11,212	3,013
商品及び製品	26,254	25,126
原材料及び貯蔵品	17,669	21,300
仕掛品	861	1,099
その他	20,145	30,423
貸倒引当金	△85	△86
流動資産合計	210,728	229,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,695	48,089
機械装置及び運搬具(純額)	79,177	91,415
その他(純額)	39,256	45,175
有形固定資産合計	163,129	184,680
無形固定資産		
のれん	76,686	78,960
その他	20,707	21,057
無形固定資産合計	97,394	100,017
投資その他の資産		
前払年金費用	5,615	5,777
投資有価証券	19,664	22,815
繰延税金資産	36,616	31,635
その他	2,070	2,039
貸倒引当金	△164	△106
投資その他の資産合計	63,803	62,160
固定資産合計	324,326	346,858
資産合計	535,055	576,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,185	58,292
短期借入金	6,228	6,312
未払法人税等	3,234	3,695
賞与引当金	4,335	4,549
その他	54,562	62,008
流動負債合計	121,547	134,858
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	53,333	14,340
長期借入金	23,000	22,000
退職給付引当金	2,925	3,115
その他	5,048	4,830
固定負債合計	84,306	44,286
負債合計	205,854	179,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	29,782	43,067
利益剰余金	275,609	289,665
自己株式	△43,030	△15,985
株主資本合計	278,354	332,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,635	9,689
繰延ヘッジ損益	△20	△133
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	3,955	12,541
その他の包括利益累計額合計	11,413	21,940
新株予約権	677	496
少数株主持分	38,755	42,396
純資産合計	329,201	397,572
負債純資産合計	535,055	576,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	234,859	286,618
売上原価	127,774	158,094
売上総利益	107,085	128,523
販売費及び一般管理費	※1 79,350	※1 96,478
営業利益	27,735	32,045
営業外収益		
受取利息	384	706
受取配当金	156	179
デリバティブ評価益	3	428
その他	301	756
営業外収益合計	846	2,069
営業外費用		
支払利息	191	163
売上割引	2,424	1,415
為替差損	2,967	1,442
その他	49	118
営業外費用合計	5,633	3,138
経常利益	22,948	30,976
特別利益		
固定資産売却益	24	5
その他	6	0
特別利益合計	31	6
特別損失		
固定資産処分損	131	447
事業構造改善費用	※2 56	—
退職給付制度改定損	—	121
その他	—	28
特別損失合計	187	597
税金等調整前四半期純利益	22,792	30,384
法人税、住民税及び事業税	3,858	6,257
法人税等調整額	219	3,720
法人税等合計	4,077	9,978
少数株主損益調整前四半期純利益	18,715	20,406
少数株主利益	2,721	3,068
四半期純利益	15,993	17,337

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,715	20,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	2,053
繰延ヘッジ損益	△4	△208
為替換算調整勘定	△2,951	10,178
その他の包括利益合計	△2,965	12,024
四半期包括利益	15,749	32,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,132	27,864
少数株主に係る四半期包括利益	1,616	4,566

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売運賃諸掛 11,194百万円 販売促進費 32,196百万円 広告宣伝費 7,862百万円 従業員給与・賞与 6,998百万円 賞与引当金繰入額 1,789百万円 退職給付費用 765百万円 減価償却費 1,099百万円	※1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売運賃諸掛 14,241百万円 販売促進費 41,434百万円 広告宣伝費 8,657百万円 従業員給与・賞与 8,458百万円 賞与引当金繰入額 1,827百万円 退職給付費用 701百万円 減価償却費 1,157百万円
※2 事業構造改善費用 事業構造改善費用は、パーソナルケアセグメントに係る事業再編関連費用であります。	_____

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の権利行使に伴い、自己株式を処分しております。

この結果、自己株式が26,128百万円減少、資本剰余金が12,862百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	196,143	36,006	2,710	234,859	—	234,859
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	8	8	△8	—
計	196,143	36,006	2,718	234,868	△8	234,859
セグメント利益(営業利益)	25,309	2,279	134	27,723	12	27,735

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	245,855	38,182	2,580	286,618	—	286,618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	19	19	△19	—
計	245,855	38,182	2,600	286,637	△19	286,618
セグメント利益(営業利益)	31,443	415	169	32,028	16	32,045

(重要な後発事象)

(転換社債型新株予約権付社債の繰上償還)

当社は、平成22年9月24日発行の当社2015年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債（以下、「本社債」）について、平成25年9月24日付で本社債の発行要項に定める120%コールオプションを行使し、平成25年10月25日を期日として残存する本社債の全部を繰上償還することを決定しました。

転換請求最終期日である平成25年10月22日までに、本社債8,710百万円（帳簿価額）の株式転換請求があり、これにより自己株式2,242,925株を処分しております。

この結果、残存した本社債5,630百万円について、以下の通り繰上償還を実施しております。

1. 繰上償還する銘柄

2015年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債

2. 繰上償還期日

平成25年10月25日

3. 償還のための資金調達の方法

自己資金より充当

4. 償還理由

本社債の発行要項に定める120%コールオプション条項の条件が充足されたため

5. 繰上償還の内容

(1) 償還前残存額面総額 5,630百万円

(2) 繰上償還金額 5,630百万円

(3) 償還後の残存額面総額 一百万円

6. 業績に与える影響

業績に与える影響はありません。